

子育て支援計画について

加藤 啓二 議員



【問】保育園の新設計画、建替え計画は検討されているか。

【福祉部長】現時点では、新設計画及び現在の保育園の建替え計画はない。計画的に園舎の改修を実施し、環境整備を進めていきたい。

【問】町の特色のある育成支援の施策は。

【福祉部長】延長保育事業の増設、病後児保育所の新設、つどいの広場の新設、ファミリースポーツ事業の推進、児童館事業の充実等を行っていく。

【町長】保育園・児童館・小学校の充実強化を図りたい。ハード面ではなく、ソフト面の充実に努めたい。児童館の運営を一層強化し、地域の人達をまきこんで3世代間交流共存できるふれあいの場づくりで、3世代の方々が共存できるまちをつくっていきたい。中部保育園で、カンガルー教室・らっこちゃんルーム



中部保育園

をおこなっている。参加希望者が多いが、施設が伴っていないので、早い時点で施設改修を行い、特別保育を一層強化していきたい。この町で子育てをしたいという環境整備を今後しっかり努めていきたい。

※他にも、防災計画の質問を行いました。

平成23年度からの小学校用教科書は本当に「ゆとり」からの決別か

山口 洋子 議員



【問】本当に「ゆとり」はなくなり、「詰め込み教育」になるのか。

【教育長】新学習要領は、学力低下の指摘を受けて「基本、基礎の習得」の強調がなされ、国語、算数など主要教科の授業時間は、「小学校で約10%、中学で約12%」増加する。一方、「総合的な学習の時間」などが削減されるので、トータルすると結果的にゆとりは無くなるが、即詰め込みになるとは、考えていない。

【問】東郷町はどのように対応するか。

【教育長】指導要領は以前から変わると言われていた。学校ではすでに内容の一部を平成21年度から先行実施している。来年からの実施に備えている。

【問】教育長の方針は。

【教育長】いままでの良いところを残し、新たな学習指導要領に沿った求められる教育を実践し、家庭や地域との連携や交

流をはかつて行きたい。

支援学級について

【問】介助員の理想的配置はどう考えるか。

【教育長】生徒数に対する配置基準は無いが、児童の状態により、必要なクラスに配置することであると考える。

【問】支援学級の先生が不明なことがある時など連携ネットなどあるか。

【教育長】コーディネーターがある。

【問】相談窓口はどこか。

【教育長】一番身近は、担任。管理職の先生。コーディネーターなど。



説明する文部科学省(同省ホームページより)